

平成 21 年度

魚津市民バス事業再構築活性化プログラム
に関する調査業務

報 告 書

平成 22 年 3 月

国土交通省 北陸信越運輸局

■ 目 次 ■

1. 調査の概要	1
1.1 調査の目的.....	1
1.2 調査の内容.....	1
1.3 調査の流れ.....	2
1.4 調査内容と報告書構成との関連.....	4
2. 魚津市の位置と今までの取り組み	5
2.1 位置・地勢.....	5
2.2 今までの公共交通に関する取り組み.....	6
3. 魚津市の公共交通の現状	7
3.1 魚津市を走行する公共交通の概要.....	7
3.2 公共交通の利用特性.....	11
3.3 乗り継ぎ環境・バス待ち環境.....	14
3.4 接続状況.....	16
3.5 情報提供.....	17
3.6 公共交通空白域.....	18
3.7 市民バス運行におけるNPO法人の役割と行政負担状況.....	19
4. 公共交通を取り巻く現状・情勢	20
4.1 マイカー依存の拡大.....	20
4.2 人口の減少と少子高齢化.....	21
4.3 主要施設の郊外立地と中心市街地の衰退.....	22
4.4 数年後に迫った北陸新幹線(長野～金沢間)の開業.....	23
4.5 増加傾向にある観光入り込み客数.....	24
4.6 高齢者の交通事故対策.....	25
5. 公共交通に対するニーズ	26
5.1 住民アンケート調査から見えるニーズ.....	26
5.2 学生アンケート調査から見えるニーズ.....	28
5.3 企業・施設アンケート調査から見えるニーズ.....	29
5.4 公共交通利用者ヒアリング調査から見えるニーズ.....	30
5.5 住民グループインタビュー調査から見えるニーズ.....	31

6. 改善策の検討	32
6.1 目標の提案.....	32
6.2 目標達成のための課題.....	33
6.3 施策案.....	39
6.4 地域住民および交通事業者等による施策評価.....	51
6.5 施策による需要掘り起こしの可能性検証.....	53
7. 今後の課題(施策推進のための課題)	54

資料編

1 住民アンケート調査.....	1
2 高校生アンケート調査.....	29
3 大学校生アンケート調査.....	56
4 施設関係者アンケート調査.....	69
5 企業関係者アンケート調査.....	76
6 公共交通利用者ヒアリング調査.....	81
7 魚津市公共交通グループインタビュー調査.....	88
8 委員会開催内容.....	96
9 魚津市民バス事業再構築活性化プログラム検討経過説明会.....	126

【注意】「旅客から収受する対価」「運賃」の表現について

道路運送法で定義される「自家用有償旅客運送における旅客から収受する対価」、「一般旅客自動車運送事業における運賃」については、当報告書において、便宜的にすべて「料金」と表現している。